

2020年9月5日 巣鴨図書館発行



なんだかわかりますか？
正解は、「巣鴨図書館 まめ知識」を、
お読みください！

8月は、各地で暑い日が続きました。静岡県浜松市では、日本歴代最高気温に並ぶなんと41.1度を観測しました。まさに猛暑。報道等では、さかんにエアコンの使用が呼びかけられました。

当館では、桜の木に止まったセミたちの元気な鳴き声が響き渡る中、引き続き多くの方々に来館していただきました。少しでも暑い時間帯を避けて来館される方が多かったようです。コロナ禍において、旅行を控えられている影響でしょうか、夏休み中の利用者数は例年に比べ多かったとの印象を受けています。

様々な場面でこれまでと違った生活スタイルが求められる中、身近な場所にある利便性の高い学びの場としての存在意義をこれからも考えていきたいと思えます。（館長）



マスクと過ごした夏も
まもなく終わりです。

少しずつ少しずつ、
できることが増えて
いきますように！
イラスト作 S

特集コーナーご案内

東京でおもてなし 2020 ～56年ぶりの夢～

来年開催予定の東京オリンピックに向け、オリンピック・パラリンピック関連の本を展示しています。

大人向け・子供向け、両方あります！

＜実施期間＞
8月29日(土)～10月22日(木)

＜実施場所＞
巣鴨図書館 1階新刊コーナー

通常開館時の予定

※状況により変更の可能性があります。

- ＜日曜＞新刊本を出します。
新刊コーナーにご注目！
- ＜火曜＞第3火曜日11時から、赤ちゃん向けお話を開いています。
- ＜水曜＞毎週3時30分から、幼児から小学生低学年向けのお話を開いています。

※現在お話し会は、休止しております。

編集後記

例年にない猛暑…
マスクをしていると、暑さが一段と辛かったです。でも少しずつ季節は変わり、「読書の秋」はそこまで来ています。良き出会いがありますように！（M）

巣鴨図書館 まめ知識

桜の木の元に…

「すがもらいぶらり」表紙を飾ったきのこの正体は

9月号の表示を飾ったのは、マンネンタケ（別名、「靈芝」(レイシ)というきのこです。中国では古くから不老長寿、縁起の良いものといわれることもあります。

枯れ木の根株、または地下の枯れた根を分解して出てくるきのこのことなので、桜が傷んできているのでは？というところは気になります。

が、一年生のキノコなので、夏過ぎには枯れてしまいます。枯れる前に、ぜひみてみてください！

※写真の撮影日は、7月19日
※8月末現在だいぶ枯れかけています…

＜調査協力＞

- 大阪市立自然史博物館植物研究室
- きのこアドバイザー 荻田毅氏

きのこについて調べる本

『現職きのこ図鑑 コンパクト版 6』
北隆館 (474 ケ)

『よくわかるきのこ大図鑑』
小宮山勝司著・長丘書店
(657 コ)

おいしいきのこ毒きのこハンディ図鑑
主婦の友社
(657 オ)

じぞうくんの食レポリレー



巣鴨図書館で働く人の食事情を本と絡めながら語り、リレー方式で紹介していくコーナーです。

「いろいろなお茶を楽しもう」

イギリス人はお茶、つまり紅茶が大好きで、イギリスの物語には必ずと言っていいほどお茶を飲む場面が出てきます。「アガサ・クリスティ」の推理小説に出てくるミスマーブルがよく「スコーンはいかが？」と言ってお茶に誘うのを読むたびに羨ましくなるのは私だけではないでしょう。『ふしぎの国のアリス』も三月ウサギがお茶会をしていますし、『ピーターラビット』もちょっと具合が悪そうなピーターにお母さんがカモミールティーを飲ませます。

さて、日本のお茶事情はどうでしょう。先日、『宇治抹茶入りグリーンレモンティー』という粉末のお茶を見つけて買ってみました。京都の老舗お茶やさんの商品だけあって、冷水で入れるとさっぱりすっきり美味しい！はちみつ入りでほんのり甘く、この季節には最高だと思いました。このころ、『とうもろこし茶』『そば茶』『小豆茶』など、バラエティに富んだお茶がたくさん出ていますね。

我が家は5月になると、静岡にある親戚から新茶がどっさり送られてきます。普段は買わないちょっとお高い煎茶は、本当に美味しく毎年の楽しみなのですが、とにかく上手に入れるのが難しいです。紅茶ならそれほど気を使わなくてもよいところ、日本茶は温度や注ぎ方などとても繊細ですね。欧米人のおおらかさに対して、こういうところは茶道を編み出した日本人らしいな、と思います。茶道といえば、山本賢一著『利休にたずねよ』は、歴史ものとしては読みやすいし、エンターテイメントとしての構成が素晴らしく茶道に興味がなくとも楽しめる一冊ですので、興味のあるかたはぜひ。
(W)

テーマに合わせた
図書館蔵書
ご紹介

お役立ち本

『ふしぎの国のアリス』 講談社
(中央・池袋・目白図書館所蔵)

『利休にたずねよ』 PHP研究所
(上池袋・池袋図書館所蔵)

じぞうくんのそぼくな疑問



初めまして、ぼくはじぞう。
心にうつりゆく
ちょっとした疑問を
ここでつぶやいていくよ。

今回はじぞうくんが新学期で忙しいようなので、これまでの「そぼくな疑問」より、調べ方のポイントを、まとめてお送りいたします！

第一回「バレンタインデー」

同一テーマについて、複数の本を読んでみよう。違う視点で書かれている場合があるよ。

第二回「パンデミック」

医学書などは、最新情報を知りたいよね。また正しい情報でないと困るので、資料の出版年、出典や情報源を確認しよう。

第三回「食パン」

同一テーマについて、複数の分類の本を読んでみよう。違う角度から書かれているから面白いよ。

追記（検索すると、いくつか違う分類の棚が示されていることがあるよね。それぞれ見てみるのがおすすめ。）

第四回「AI」

資料が「どういうレベル」で「誰を対象にしているか」を確認しよう。専門家向けか、専門に勉強している学生か、一般向けか。全くの初心者なら、入門書から見てみよう。

お出かけ出来ない時期は、調べものの絶好のチャンス！
あなたのそぼくな疑問をぜひ、図書館の本で、解決してね。

じぞうくんが読んだ本はこちら

『レファレンスブック
—選びかた・使いかた— 4訂版』
長澤雅男／共著 石黒祐子／共著
東京 日本図書館協会』

じぞうさんぽ

＜大塚→巣鴨行き当たりばったり＞

2019年9月15日、昼過ぎの大塚駅南口。天祖神社のお神輿の見物を終えた私は、この機会に『大塚三業通り』を歩いてみようと思い立った。豊島区育ちなのだが、ここはほぼ初めてだ。通りに入るとすぐ、狭めの道がくねくねと続いている（谷端川の暗渠だとか）。先の見えない感じが何ともミステリアス。夜ならもっと素敵だろう。だが、それにしてもひとけが無い。わずかに営業中のお店も、和食屋や蕎麦屋など、いわゆる普通の飲食店だ。当然か。いくらお祭り中とはいえ、ここは本来、大人の街。真昼間に賑わっているわけがなかった。

とりあえず気分だけでも味わおうと歩を進めると、左手にいきなり、ものすごい坂が現れた。とにかく長い。そして所々急角度。絶対に自転車では上りたくない。と思いつつも、ついふらふらと左折してしまう。5分程で坂を上りきると、山手線の線路に架かる江戸橋のたもとに出た。そのまま橋を渡り、巣鴨駅方面に向かう。

住宅街に入ると、こちらもお祭りムード。凛々しい祭り装束でお散歩する柴犬。それをにこにこ見守る、粋な法被姿のお兄さんたち。近くの洋菓子店で一休みしていると、何やら外が騒がしい。見ると、先程の柴犬が子供たちに囲まれている。と、お店の方が、大きな銀のお盆に一口大のスポンジケーキをびっしり並べて颯爽と出て行った。そこへ折よくお神輿が到着。何とうらやましい差し入れ！ 運ばれてきたパフェに舌鼓を打ちながら、地元の人情にほっこりした私だった。

(A)
旅のお供に
おすすめの
図書館
蔵書をご紹介

ともぼん お供本

『大塚・巣鴨Walker』 KADOKAWA
(291.3 才)

『ぶらり、ゆったり、今こそ癒しの街・巣鴨』 豊島区
(672 キ)